

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	介護福祉課(高齢者福祉担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	老人福祉施設建設等補助事業	事業番号	12188

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-6	高齢者介護の充実
	施策目標	人と人が支え合い高齢者が安心して暮らせるまち	

2 事務事業の目的

目的	高齢期を迎え心身の機能が低下しても、できる限り自立していきいきと生活できるよう、また、介護状態になったとしても必要な支援を受けながら安心して暮らし続けることができるよう、住まい・居住の場を高齢者の身体状況や生活状況に応じて安定的に確保する。
成果	入所待機者ゼロを目指し、必要ときに必要なサービスが提供できるよう施設を整備する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	27	老人保健施設・デイサービスセンター建設事業の補助						
	28	同上						
	29	同上						
	30	同上(償還終了)						
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		16,970	16,441	15,916	15,916	0	65,243
	内 訳	国庫支出金						0
		道支出金						0
		地方債						0
		その他						0
		一般財源	16,970	16,441	15,916	15,916	0	65,243
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08		
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	0	2,584	
総事業費		17,616	17,087	16,562	16,562	0	67,827	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	施設入所者数(1日あたり)	180人	185人	190人
	施設通所者数(1日あたり)	75人	80人	85人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	日常生活で支援が必要なときに各施設において利用者の状況にあった必要なサービスが受けられる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 超高齢化社会に伴い、65歳以上のひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加している。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 地域の老人福祉施設整備についての事業であり、市が実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 建設等に係る補助のため緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 超高齢化社会に伴い、地域における老人福祉施設の維持は必要不可欠であり、建設等への補助は妥当である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 高齢者の多くは老人福祉施設を利用しており、公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 高齢者が増加する中、老人福祉施設を利用することにより安心して暮らすことができることから有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 債務負担行為につき、適正に事業推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 超高齢化社会に伴い、老人福祉施設利用の需要が増加すると見込まれるため、必要なときに必要なサービスが提供できるよう施設整備を図りたい。

作成年度

平成27年度